

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんふあん由木事業所			
○保護者評価実施期間	2025年 3月1日		～	2026年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名(内2名兄弟)	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 3月1日		～	2026年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	駐車場からバリアフリーでスムーズに移動できる。また、室内は絨毯スペース(落ち着いて過ごせる)と、広いフローリングスペース(運動活動)に分かれており活動を明確化出来る作り。	運動研修動画など視聴し活動の内容の幅を広げ、広いスペースを生かした運動療育を行っている。	学んだ活動だけでなく、子ども達が【やりたい】という運動をより多く取り入れ、笑顔で楽しく参加できる運動活動にしていきたい。

2	不安定になり、自傷や他害等の心配が見込まれた際に個別対応できるスペースがしっかりと設けられている。	個室対応時の流れを全スタッフが情報共有し安心安全を基に対応している。	新しく入所してくる子や、現在利用している子供たちの変化を見逃さずに今後に対応して行きたい。
3	笑顔で毎日行きたいと思う事業所。	苦手な事や新しい発見探しなど常に様子を観察しています。	苦手なことを出来るように目標を立てていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントや様々な行事を行っている事やお便りの配布・ホームページなどの更新等も保護者に周知されていないこと。	事業所からの告知の内容認知がされていない。	保護者会を企画し、自己評価アンケートを基に説明会を行い理解を深めてもらう。
2	地域の子ども達との交流する場で活動している事が周知されていない。	活動の回数が認知される程行えていない事や保護者への告知の方法（おたより）がわかりづらい。	児童館等の交流の場の機会を増やし、保護者への報告を分かりやすく行う。

3			
---	--	--	--